

【国内】家畜衛生情報 R7-8

本文

<かごしま畜コミ・インフォ>

宮崎県における野生イノシシの豚熱感染事例（５，６例目）について、情報提供します。

【概要】

・発見場所：５例目：西諸県郡高原町，６例目：都城市高崎町

(1) 宮崎県は、７月１１日（金）、高原町において衰弱した野生イノシシ（１頭）を回収。

同日、都城市高崎町において死亡した野生イノシシ（１頭）を回収。

(2) ７月１４日（月）、宮崎家畜保健衛生所での遺伝子検査（PCR 検査）で２頭とも陽性と判定。

同日、宮崎県ホームページ等で公表。

※今後、宮崎県の野生イノシシの検査情報については、宮崎県ホームページ等をご確認よろしくお願いします。

※豚熱（CSF）について（宮崎県 HP，プレスリリース等）

https://www.pref.miyazaki.lg.jp/shinsei-kachikuboeki/shigoto/chikusan_gyo/20250416111920.html

※豚熱（CSF）の概要（宮崎県 HP，検査状況等）

https://www.pref.miyazaki.lg.jp/shinsei-kachikuboeki/shigoto/chikusan_gyo/20230809_csf_vaccine.html

※豚熱に関する情報（農林水産省 HP）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>

◎「豚飼養農家の皆様」におかれましては、次の３項目の対策の徹底をお願いします。

(1) ワクチンに頼らない飼養衛生管理の徹底

- ・野生動物侵入防止対策（農場の防護柵や防鳥ネットの破損等のチェックと修繕など）
- ・農場に出入りする人や車両等の制限。出入りする場合は、衣服及び長靴等の交換
- ・農場に出入りする畜産関係車両や人の入退場時、物品の搬入搬出時における消毒の徹底
- ・と畜出荷の際は、と畜場内での車両の水洗・消毒の徹底

- ・ 外部導入した豚の隔離と健康観察
- (2) 豚熱ワクチンの適時・適切な接種
- (3) 特定症状（紫斑，異常豚や流死産の増加，死亡豚の増加等）が認められた場合
の家畜保健衛生所への早期通報

豚熱の発生予防対策としては，ワクチンだけに頼ることなく，飼養衛生管理の徹底が重要です。

引き続き、緊張感を持って、侵入防止対策に万全を期していただきますよう、よろしくお願い致します。

なお、本病を疑う症状等が確認された場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所までご連絡ください。

☆個々の農場で！地域ぐるみで！

農場防疫（バイオセキュリティ）対策 の徹底をお願いします！！

署名

鹿児島県農政部家畜防疫対策課

TEL099-286-3297